

blanClass

2015 4-5 Live Art on Every Saturday and more.

空気をつくろう

先日、三月一四日と一五日のblanClassのイベントは、当初一日だけ佐々木さんをお願いし、告知していたものが、大幅に更新されて、佐々木に加え、岩田浩、趙純恵が共同でつくり出した、これまでにないイベントになった。「それらについて話すこと」と題されたそのイベントは、当初は演劇的な試みとして制作されていたかのように思われた。だが、ふたを開けてみると、一日目、二日目と回を重ねて、より作品とは到底呼べない、三人の価値観が未来に向けて、慎重に交わされる状態が、そのまま示されたものだった。

特に二日目の彼らの振る舞いは、観客も無視したような没入した会話そのものだった。だからとても急進的で、blanClassだからかろうじて成立したようなもので（それもかなり疑わしいが）、一歩外に出してしまえば、受け入れられない行為にも思えるし、それぞれが日々課し、時間をかけて生き抜いてこそ思想的な態度にも見えた。

なにかの発言を、どんなに慎重にしても、どこかの領域で、結果的になんらかのジャンルや形式に回収されてしまう。そういう振る舞いは、やっているのか、やらされているのか、どちらともいえない自意識の中で、半ば強制的に決定されてしまうものだ。だからその日の彼らの姿勢は、そういう「作品化」に対する抵抗のようにも見えたが、一方で、その前提になっている、社会や政治みたいなものまでもつくり出さうという行為そのものにも見えた。

ふと、彼らがつくり出しているのは「空気」なのではないかと思った。

放っておくと世の中には良からぬ空気が充満してしまふ。オウムだとかUSJなんか故意的につくり出す不穏な空気もあれば、だれがつくり出したのかわからない、差別や偏見に満ちた得体の知れない空気に、時折、押し潰されそうになる。

もしかするとこれからの二〇年をサヴァイヴするということは、厳しい貧困を生き抜くほかに、無根拠で恥知らずな膨れ上がる空気に對抗することなのかもしれない。形も根もない空気とどうやって戦えばいいのだろうか、途方に暮れていたが、なるほど敵が空気なのだから、こちらも空気をつくって対抗したらいいかもれない。どんなことでも試すことのできる「場」を模索しつつ、これからは「空気」も一緒につくっていきましょう。

小林晴夫

アクセス：
井土ヶ谷駅はエアポート急行も止まります。

〈品川から京急の場合〉
京急浦田でエアポート急行（横浜方面行）
に乗り換えて井土ヶ谷駅下車。約30分

〈横浜から京急の場合〉
下りエアポート急行で2つ目（約8分）、
普通で5つ目（約11分）、
井土ヶ谷駅下車。



京浜急行 [井土ヶ谷駅] 改札出て
正面の信号を渡ってすぐ左折、1つ目の交差点を右折、2つ目の角を左折、
三井のリパーク後ろ、白いblanClass看板がある細い段々を上がって右の建物2階

blanClass 2015 April - May イラスト：安部祥子 ロゴデザイン：浅野 泰

ブランクラス Live Art & Archive

〒232-0006 横浜市区南区南太田 4-12-16-2F
info@blanclass.com http://blanclass.com
Twitter / facebook : blanclass
ディレクター：小林晴夫 +product：安部祥子
インターン：野本直輝 宮澤 馨

2015 4

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
		1	2 月イチ CAMP Public Meeting #1-3 st. 19:30 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200	3 月イチ 岸井大輔 アジアで上演する #8 st. 19:30 ¥2,000 (要予約)	4 関川航平 op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,000 (ドリンク別)	5
6	7	8	9	10	11 小口奈緒実 op. 17:30 / st. 18:00 ¥2,000 (ドリンク別)	12
13	14	15	16	17 月イチ 杉田 敦 nano school #27 st. 18:30 ¥1,200・学¥1,000 (要予約)	18 清水 享 ws. 13:30 op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500 (ワンドリンク)	19
20	21	22	23	24 月イチ CAMP something for something #3 st. 19:30 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200	25 川久保ジョイ op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500 (ワンドリンク)	26
27	28	29 昭和の日	30			

2015 5

mon.	tue.	wed.	thu.	fri.	sat.	sun.
				1	2	3 憲法記念日
					CAMP Hotel CAMP Check in →	
					予約 ¥2,000 当日 ¥2,500 定員 10名	
4 みどりの日	5 このもの日	6 振替休日 CAMP Hotel CAMP Check out →	7	8 月イチ 杉田 敦 nano school #28 st. 18:30 ¥1,200・学¥1,000 (要予約)	9 秋本将人 / 西山功一 / 益永梢子ほか op. 18:00 / st. 19:00 ¥1,500 (ドリンク別)	10
11	12	13	14	15 月イチ 岸井大輔 アジアで上演する #9 st. 19:30 ¥2,000 (要予約)	16 笠原恵実子 op. 18:30 / st. 19:30 ¥1,500 (ワンドリンク)	17
18	19	20	21	22 月イチ 鈴木理策 写真のゆくえ #1 全8回 st. 19:30 ¥2,500・学¥1,500 4回目から ¥2,000 (要予約)	23 高橋永二郎 op. 19:00 / st. 20:00 ¥2,000 (ワンドリンク)	24 高橋永二郎 op. 19:00 / st. 20:00 ¥2,000 (ワンドリンク)
25	26	27	28	29 月イチ CAMP something for something #4 st. 19:30 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200	30 金川晋吾 op. 15:30 / st. 16:00 talk 19:30 ¥1,000 (ドリンク別)	31

blanClass membership はじめました !!

blanClassの活動を応援、ご支援、ご協力をしていただけるメンバーを広く募集します。

スタンダードメンバー	プレミアムメンバー	サポートメンバー
学生 ¥10,000 シングル ¥20,000 ペア ¥30,000	フレンド ¥50,000 フェロー ¥100,000	ベネファクター ¥250,000 パトロン ¥1,000,000

*会員登録は受付、またはwebの申し込みフォームをご利用ください。

DVD | 多田正美 w/ 鈴木理策 [西浦の田楽]

オープン価格 | blanClass ストアページ bproduct.thebase.in から (¥2,000) でご購入できます。

音楽家、多田正美の表現に大きな意味を持つ奇祭、「西浦の観音様のお祭り」(静岡県西浦地区)を地続きの文化として交換してみようという企画。2011年10月29日「新・港村」にて、中川敏光、伊藤啓太、柿ハンドドライブと舞いびと達とともにコラボレートされたパフォーマンスと「西浦の観音様のお祭り」の映像 & 多田正美インタビューを収録したDVD。

Live Art

毎週土曜日は、Live Art + 公開インタビュー。ワンナイト完結の、どんなことでもありのアートイベント。
おいしい軽食（無料）、飲物（有料）をご用意しております。

4.4 [土] 参加型イベント

関川航平 終わり方について話し合う

その日集まった人たちで、その日の集まりの終わり方について話し合いたいと思います。少しでも自分の話もするつもりです。最終的には、話し合っただけのやり方に従い、それぞれが帰ることでイベントを終わりにできればと思います。

open 18:30 start 19:30 ¥1,000 (ドリンク別)



関川航平 《絵画制作のための装置》(2013)

4.11 [土] プレ・オープニングパーティー

小口奈緒実 プレ・オープニングパーティー

仮想の展覧会のオープニングパーティーへご招待します。ある作家たちの個展をここブランクで開催します。未来の展覧会を、集まった人たちで祝いましょう。

今後どこかで行われるであろう展覧会のその前夜にあたるプレ・レセプションイベント。もちろん展覧会が翌日も続く必要はありません。ここでは作家の一晚の気の迷いもゆるされます。作家については後日 blanClass のホームページでお知らせします。

open 17:30 start 18:00 ¥2,000 (ドリンク別)



小口奈緒実キュレーション「イメージの遊離」(2015) Exhibition view

4.18 [土] ワークショップ

清水享 blanClass からスポーツをつくる

ワークショップ参加者と blanClass のあれこれをピックアップし、それらからスポーツをつくりまします。当然オリジナルを目指します。当日はその段階でのルールでプレイしてみます。ワークショップ参加者募集！ もちろん観るだけでも OK です。

wshop start 13:30 先着 10名 ワークショップ参加者 無料

open 18:30 start 19:30 ¥1,500 (ワンドリンク)



清水享《箱技・ダンボ》(2005)より

4.25 [土] translation / performance

川久保ジョイ 立ち上がる言葉、ひっそりアンダーラインするとしよう Touch a girl, code of art, history and a lie through the show

ペドロ・イノウエと川久保ジョイによるトーク及びパフォーマンス。ペドロと川久保のトークでは失われたもの、虚構や歴史が入り交じり、川久保はスクリーン上で同時通訳的な行為とパフォーマンスの叙述を試みる。そのプロセスの中からがち上がる現実の認識を共有する。

open 18:30 start 19:30 ¥1,500 (ワンドリンク)



川久保ジョイ (Letter to Pedro from London, Sep. 2014)

5.1 [金] → 6 [水・祝]

CAMP Hotel CAMP



隔月一回のペースで Live Art に参戦している CAMP。今回は昨年 10 月 2 泊 3 日で試した「ホテル CAMP」が 5 泊 6 日のイベントになって戻ってきます。内容もパワーアップされて、複数のアーティストが blanClass にホテルを出展させる予定。現在準備中ですので、詳細は blanClass や CAMP のサイトで…。

予約 ¥2,000 当日 ¥2,500 定員 1 泊 10 名 (要予約)

予約方法 CAMP のサイトをご確認ください。http://ca-mp.blogspot.com/



2014.10.31 hotel-CAMP より

5.9 [土] ワークショップ

秋本将人 西山功一 益永梢子ほか (予定) 朝食の晩餐

食パンにディップや具材を使って絵を描き、皆で食べるワークショップ。参加者は食パンに乗ったお皿を手に席を囲み、一つ手を加えたと隣の参加者にお皿を回すという工程を繰り返します。回ってきた食パンが完成していると感じたら、それが参加者のものに！

open 18:00 start 19:00 ¥1,500 (ドリンク別)



益永梢子 (Abstract Butter) より

5.16 [土] アートを共に語るご飯会、お題付き

笠原恵実子 アートでナイト part 1 | PARASOFIA: 京都国際芸術祭

15 年住んでいたニューヨークから帰ってきて一番つらいことは、文化や政治を語り合う場がないこと。気軽に集まって、ご飯食べて時には熱く話をする。日常的にそして真剣にアートを、文化を、政治を、シャッフルして語り合う場が欲しいと思います。第 1 回のお題は私も参加している PARASOFIA: 京都国際芸術祭。各国の作家が参加して京都で行われるこの展覧会について、それぞれの生活とアートをリンクさせながら、ドレスダウンした関係で時間を共有しましょう。

open 18:30 start 19:30 ¥1,500 (ワンドリンク)



笠原恵実子 (Offering- Eve) (2005)

5.23 [土]・24 [日] 演劇

高橋永二郎 Whales 第 1 回公演《名絵画探偵 (仮)》

出演 外島貴幸ほか 脚本・演出 高橋永二郎

タイムマシンを駆使して、歴史を行き来する自称「名絵画探偵」とは何者なのか？ 最小規模のシステムで劇場を構築する SF 演劇。

open 19:00 start 20:00 ¥2,000 (ワンドリンク)



2014.5.3 Bot-tom Boy and THE SERVICE パフォーマンスより

5.30 [土] 公開写真編集 (ワークショップ) / トーク

金川晋吾 父を撮ること

2008 年から私は自分の父を撮っているのですが、今では私が父に向かってカメラを向けるのではなく、父に父自身を撮ってもらおうというかたちになっています。父と私との関係性の変化とともに、父を撮ることの方法も変化してきました。現在私は、父を撮った写真を編みなおし、ひとつの本として世のなかに出そうとしています。これを機に、個人的な関係性のなかに写真という「装置」を置くことによってそこで何が生じているのか、について考えてみたいと思っています。

open 15:30 start 16:00 talk 19:30 ¥1,000 (ドリンク別)



金川晋吾 (father) より

月イチ・セッション (要予約)



連続しつつ、1 回 1 回が読切りトークセッション。毎回刺激的な内容なので、どこを切っても違った面白さがあります。途中参加も気にせず、ドンドン参加してください。5 月からは鈴木理策が写真のワークショップ (全 8 回) を開講します。

月イチ・セッション 予約方法

月イチ・セッションは予約が必要です。info@blanclass.com に以下の内容でイベント前日までに送信してください。こちらからの返信を持って予約完了とさせていただきます。当日の場合でも準備がありますのでご予約をお願いします。なお定員に達した場合などお断りすることもありますので、あらかじめご了承ください。

〈件名〉各イベント名 (本文) 1) 日にち 2) 氏名 3) 住所 4) メールアドレス 5) 参加人数

4.2 [木] トークセッション

CAMP Public Meeting #1-3 | 戦争画



新シリーズ「パブリックミーティング」を不定期に開催します。1 回目 (非公開) は笹川治子、バーバラ・ダーリンによってつくられ、2 回目 (公開) に佐々木健、眞島竜男も加わり、もう一度つくり直した「戦争画の地図」をベースにトークします。

参加アーティスト 佐々木健 / 眞島竜男 / 笹川治子 / バーバラ・ダーリン

start 19:30 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200 定員 30 名



CAMP Public meeting #1-1 | 戦争画より

4.24 [金] トークセッション

5.29 [金] トークセッション

CAMP something for something #3, #4

2 月からスタートしている「something for something」。なにかのためになにかを話します。ちなみに 1 回目はセス・ジーゲローブ (Seth Siegelau) の活動を考えてみました。詳細は blanClass や CAMP のサイトで。

start 19:30 予約 ¥1,000 当日 ¥1,200 定員 30 名



2015.2.20 CAMP something for something #1 より

※ CAMP のサイトからでも予約できます。http://ca-mp.blogspot.com/

4.3 [金] 分科会 1

中世を仮設する、現実をシミュレーションする

出演 今和泉隆行 (地理人) / 危口統之 (演出家 / 悪魔のしるし主宰) / 新見永治 (パルレルの住人) / 司会: 岸井大輔 (劇作家)

5.15 [金] 分科会 2

好きにやれる状態を継続する、そのような社会が来るまで

出演 伊藤 悠 (アイランドジャパン) / 小林晴夫 (blanClass) / 鈴木一郎太 (株大と小とレフ取締役) / 司会: 岸井大輔 (劇作家)

岸井大輔 アジアで上演する #8, #9 (全 12 回)

アジアを概念化し、西洋芸術に接ぎ木して作品製作をすることは、歴史を振り返るまでもなく、陳腐であり、かつ危険な飛躍となりやすい。しかし、それを承知の上で、アジアに新たに向かい直す芸術家が増えている。しかも、彼らは、表現形式として展示ではなく上演を志向することが多いようだ。2014 年 9 月 - 2015 年 3 月に何人かの「アジアで上演する」アーティストのインタビューをし、交流・検証・実験を行った。4 月と 5 月は、その過程で浮かび上がってきたいくつかのテーマについての分科会を行う。

start 19:30 ¥2,000 定員 30 名



今和泉隆行「みんなの空想地図」(2013)より

4.17 [金] スクールセッション

5.8 [金] スクールセッション



杉田 敦 nano school #27, #28 | 裸になること、左になること

極小の学校、ナノ・スクールも、いよいよ 3 期目に突入します。知っていると思い込んでいることを可能な限り小さくして、再び、本当の意味で知るために努力してみること。アートにとって重要だと思われるそうした姿勢を、これからはいろいろ試していければと思います。

井土ヶ谷事件の当事者になるという衝撃的なスタートから、「協調 / 反駁 / 誤解」、「そこにそれはない、あるのかもしれないけれど」とテーマを替えつつ、昨年は《第 3 回イデオロギア・ビエンナーレ》を開催しました (2017 年 12 月 12 日まで開催中)。今期のナノ・スクールはアクティビストの可能性を探ります。テーマは、「裸になること、左になること」。頑迷な保守主義が、アベノミクス、PEGIDA とスタイルのイノベーションし続けているのとは対照的に、左翼には創造性は期待できないのでしょうか？ いま一度人類学的な意味で左になるために、できることは何なのか。誰にでもできる服を脱ぐことと、アナキスト的な思考、行動との間にある隔たりについて考察 / 実験します。

start 18:30 ¥1,200 学生 ¥1,000

※ナノ・スクールは完全予約制となります。参加資格は、アート、あるいはそれに関連する分野の専門家、あるいは専門家を目指す人とさせていただきます。



2015.3.12 nanoschool#26 より

5.22 [金] 講義 / 作品講評

鈴木理策 写真のゆくえ #1 (全 8 回)

デジタルカメラが備える機能は、それ以前のフィルムカメラで不便とされていたことを解決するべく用意された様に思う。たしかに、撮影枚数や露出の面でデジカメはフィルム写真の限界を拡張しているし、撮影したその場で画像を確認できることは、撮り手が信じる「より良い写真」を手に入れるためには頼もしいだろう。撮り損じても後から加工・修正が可能だから、撮影時の偶然はもはや必要とされず、絵筆よりも簡単に心的イメージを具現化する道具としてカメラを使う人も多い。こうした変化はじわじわ浸透し、違和感なく受け入れられている。だがこの変化によって失われつつある写真の魅力が確かにある。さらに悪いことに、デジタルという新技術が旧来の写真に対するリテラシーの下で用いられているという閉塞的な状況が認められる。写真の持つ性質について改めて考え、その上で制作してゆくことで、作家性を確かなものにするを本セッションの目的とする。

start 19:30 1 回 ¥2,500 (4 回目からは ¥2,000) 学生 ¥1,500 定員 20 名

※各回後半で受講者の持参した作品講評を行います。



鈴木理策「14,DK-377」(2014)より

info@blanclass.com http://blanclass.com twitter / facebook : blanclass

